



かみさと
 議会

3月定例会・5月臨時会
の審議状況
定例会の傍聴席から…
3月定例会一般質問に7人

今日は、議会へ。



少しずつ変わる町並み
変わらない日常風景…

75

第1回
3月
定例会

3月3日~17日

3月定例会は、3月3日に開会され、議員7名の一般質問と町長提出議案・承認37件、議員提出議案1件を審議して17日に閉会しました。定例会で審議された内容をお知らせします。



■平成29年度一般会計・特別会計・
企業会計の当初予算を可決!

◆専決関係◆

承認第1号

専決処分の承認を求める
ことについて

要旨 平成28年度上里町一般会計補正予算(第5号)を12月28日に専決処分し、その承認を求めるものです。

原案承認

◆条例関係◆

議案第1号

上里町個人情報保護条例の一部を改正する条例について

議案第2号
上里町職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例及び上里町職員の育児休業等に関する条例の一

部を改正する条例について

議案第3号

上里町職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例について

原案可決

議案第4号

上里町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について

要旨 学校教育及び教職員に対する直接指導・助言を行う学力向上指導員を配置するために、改正するものです。

原案可決

議案第5号

上里町長及び副町長の給与等の特例に関する条例

及び上里町教育委員会教育長の給与等の特例に関する条例の一部を改正する条例について

要旨 町の行財政運営の安定性継続確保のため、町長、副町長、教育長の給与等の特例措置を継続するよう、改正するものです。

原案可決

議案第6号

上里町一般職職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例について

議案第7号

上里町在宅重度心身障害者手当支給条例の一部を改正する条例について

原案可決

議案第8号

上里町介護保険法条例の一部を改正する条例について

要旨 低所得者保険料軽減分の公費負担が継続されることに伴い、改正するものです。

原案可決

議案第9号

上里町都市公園条例の一部を改正する条例について

議案第10号

上里町水道事業及び公共下水道事業の設置等に関する条例等の一部を改正する条例について

議案第11号

上里町企業職員の給与の種類及び基準に関する条例等の一部を改正する条例について

原案可決

議案第12号

上里中学校施設整備基金の設置、管理及び基準に関する条例を廃止する条例について

要旨 上里中学校施設の耐震化等の整備が終了したため、廃止するものです。

原案可決

議案第15・16号

上里町道路線の廃止・認定について

原案可決

◆補正予算関係◆

議案第18号

28年度一般会計補正予算

概要 歳入歳出それぞれ3037万円を減額し、予算総額を歳入歳出それぞれ94億2930万3千円とするものです。主な歳出の補正内容は次のとおりです。

・財政管理事業

5000万円

・財政調整期金積立金

1億5895万5千円

・公共用地取得・管理事業

7500万円

・教育施設整備基金積立金

1億2500万円

・障害者福祉事業

6896万円

・法人立保育所等運営委託事業

8174万1千円

原案可決

平成29年度一般会計・特別会計 予算集計表

(単位:千円)

区分	会計名	29年度 予算額	28年度 予算額	増減率
一般会計		8,364,900	8,834,500	△5.3%
特別会計	国民健康保険	4,067,111	3,887,672	4.6%
	介護保険	1,766,860	1,606,854	10.0%
	後期高齢者医療	238,916	222,914	7.2%
	農業集落排水事業	13,392	13,164	1.7%
企業会計	水道事業	913,792	984,849	△7.2%
	下水道事業	480,844	477,168	0.8%

※水道事業及び下水道事業は、収益的と資本的支出の合計額です。

■この他に、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、農業集落排水事業特別会計、水道事業会計、下水道事業会計の補正予算が提出され、原案のとおり可決されました。

■平成29年度一般会計、特別会計、企業会計の7会計を慎重審議のうえ可決しました。なお、予算の概要については、『広報かみさと4月号』に詳しく掲載してありますので、省略いたします。

◆その他◆

議案第13号

第5次上里町総合振興計画基本構想の策定について

要旨 議会の議決すべき事件に関する条例の規定により、第5次上里町総合振興計画基本構想を策定するため、議会の議決を得るものです。

原案可決

議案第14号

児玉郡市及び深谷市における公の施設の相互利用に関する協議について

原案可決

議案第17号

財産の取得について

要旨 児玉都市計画緑地1号上里町烏川・神流川総合運動公園(上里ゴルフ場整備事業のため財産を取得するものです。

原案可決

◆道路線廃止・認定◆

◆ 人事案件 ◆

諮問第1～5号

人権擁護委員の推薦について

要旨 委員である杉山悦子氏・齊藤建一氏が平成29年6月30日をもって任期満了となることに伴い再任するものです。

委員である関根信夫氏・敷地友好氏・岩田博子氏が平成29年6月30日をもって任期満了となることに伴い、後任に須賀久夫氏・栗原正明氏・並木伸子氏を推薦するものです。

原案同意

◆ 議員提出議案 ◆

議案第5号

上里町議会委員会条例の一部を改正する条例について

要旨 委員会の改選を任期前に行えるよう、改正するものです。

原案可決

5月 臨時会 5月1日

5月1日に臨時会が招集され、町長提出議案等3件を審議しました。

◆ 専決関係 ◆

承認第2号

専決処分の承認を求めることについて

要旨 税条例の改正を3月31日に専決処分し、その承認を求めるものです。

原案承認

承認第3号

専決処分の承認を求めることについて

要旨 国民健康保険税条例の改正を3月31日に専決処分し、その承認を求めるものです。

原案承認

◆ 補正予算関係 ◆

議案第32号

平成29年度一般会計補正予算(第1号)

概要 歳入歳出それぞれ32万7千円を増額し、予算総額を歳入歳出それぞれ83億6522万7千円とするものです。主な歳出の補正内容は次のとおりです。

・母子保健事業

32万7千円

原案可決

傍聴席から…

3月定例会においてアンケートを実施しました!

皆さんが真面目に取り組んでいる姿が印象に残りました。
(60代 男性)

他に傍聴者がいないのが残念だった。
(60代 男性)

議員は簡単なことを質問しているが、自分で調べればすぐわかるのではないかと。質問ばかりでなく例えばこうしたらどうか、というような提案は少なく残念であった。
(60代 男性)

本日の議員さんの質問は、とても良かったです。私達の身近な問題でわかりやすかったです。
(70代 女性)



大変理解しやすい質問をされている。質問内容が詳しく調べられている。グラフ等傍聴者にも理解しやすくてよかった。中学生等の傍聴する機会があると町や議会について感心を持つ生徒もいるのではないかと。
(70代 女性)

戸矢 隆光



問 封筒など有料広告の効果や今後の導入について

答 具体的な募集方法を検討して実施に向けて取り組んでいきたい

質問1
有料広告について

問 封筒など有料広告の効果や今後の導入について。

答 町では平成19年3月に上里町有料広告掲載要綱を定め、有料広告を掲載している媒体は、現在広報誌・町のホームページ・こむぎっちカレンダーの3種類であり、広報かみさとでは平成27年度に62万4千円、平成28年度では現在までに56万8千円の収入があった。町ホームページでは平成27年度に41万5千円の収入があり、平成28年度では現在まで1万5千円の収入があり3月までには前年同様の収入となる予定であり、こむぎっちカレンダーでは平成28年度版では16万円、平成29年度版では14万円の収入となっている。封筒については現在必要量や版代などの必要経費を調査しており各課等と実情に合わせた調整を図ると共に、具体的な募集方法を検討



広報・カレンダーに掲載している有料広告

し、実施に向けて取り組んでいきたい。

問 走る広告塔としてこむぎっち巡回バスに広告を掲載させて走つたらいいのではないかと思っている一人ですが、現在は公募の絵柄をラッピングしてあるので無理ではありませんが、電車のようにバスの中やガラス等々に掲載していくのも違和感がない広告であればいいのではないかと。

答 町の要綱では、公用車等も広告掲載の対象となっている。以前の福祉バスの時は車体に

広告を掲載し収入を得ていたが現在運行中の車体にはこむぎっちが印刷をされているので難しく他の方法があるか調査研究をしたいと考えているが、こむぎっちバスにおいては乗降客が少ないのでこれも大きな検討の課題とされている。

問 平成29年度事業の梨マップにおいて有料広告掲載は有効では。

答 地域農業の活性化につなげる目的で梨を初めとした農産物のマップの作成を検討していきたいと考えているので有料広告についても併せて考えていきたい。

質問2
防災について

問 災害時、最前線で任務にあっている団員の人たちの立ち入り禁止区域外の任務の補助していただける災害等補助員の導入について。

答 災害現場で救助活動や消火活動と一緒にを行うことは難

しいと思われるが人命に関すること及び緊急性を考慮し活動内容の検討等も必要と考えている。消防団の機能別分団として県内7市町が団員OBや希望者を採用し大規模災害時や昼間の火災時に活動をしている。条例や規則の制定、保険や賃金等の問題があり、他市町村の動向や導入済み自治体の例を参考に今後、調査研究をしたい。

問 大災害時には、数十箇所の避難場所が必要になってくるのではないかと。1箇所で相当な人数を要しマンパワーが必要では。

答 大災害の発生時に被害の規模が大きいほど各種災害対応に人員が必要となるわけに住民だけでなく、町や職員も被災を受けることになり複数の避難所を一齐に開設・運営することは難しい。各種災害等の対応を行う人員不足の対策として災害補助員の採用は大きな力になると思うが活動内容の検討を含めて今後調査研究をしていきたい。

飯塚 賢治



問 自分達ができること、ほんの少しの意識から食品ロス削減に！

答 3010運動が広く町民に周知されるよう推進する

※①

質問1 安定的な水の供給を確保することについて

問 全国的に小規模事業者において経営状況の急激な悪化が懸念される中、上里町の水道事業の現状と将来の見通しは。

答 水道事業の大局的な状況としては、統合以降、当初は赤字が続いていたが、平成22年度より安定的に黒字化してきた。しかしながら平成25年度以降は、大口事業者の使用量の低下により給水収益が急激に減少している。

問 水道施設の適切な管理を推進する上において、欠かすことのできない水道台帳の整備についてどのような状況になっっているか。

答 昭和63年度から簡易水道統合事業を実施し、平成8年度に完了したが、旧簡易水道組合から引き継がれた水道管は現在でも数多く残存し、これらを含めた配水管全体の延長は、約223キロメートルであ

る。このような管路を管理すべく、平成10年度に水道台帳を作成し、毎年度、更新作業を行っている。今後は水道台帳の電子化及びシステム化を予定している。

問 水道事業の収支の悪化は結果的に濾水事故の発生を招き、水の安定供給に支障をきたし、住民生活の質の悪化をもたらす。アセットマネジメントの結果に基づき、健全な水道事業の持続のため、水道料金をどのように設定しているのか。

答 アセットマネジメントの策定については、今後水道台帳のデジタル化を行い、現有資産を詳細に掌握した後に作成したい。水道料金に関しては、来年度中に総務省の経営戦略ガイドラインに基づいて直営で経営戦略を作成する予定。この経営戦略で中長期的経営収支のシミュレーションを行い、今後必要な更新事業の財源確保を踏まえながら調整していきたい。

※②

問 広域連携には、事業統合、経営の一体化といったことだけでなく、管理の一体化や施設の共同化などから話し合いを始めてもよいのではないかと思う。将来的に水の安定供給のために広域連携は重要だが今後の広域連携についてどのように取り組んでいくのか。

答 上里町は児玉郡市4事業体と熊谷市・深谷市・寄居町を含めた7事業体で構成される11ブロックに属している。この11ブロック広域化会議を平成26年1月に第1回の広域化検討部会をスタートし、今年度までに4回開催され、会議内では発展的な広域化を共通目標として、各事業体の課題報告や意見交換を重ねている。

質問2 食品ロス削減に向けての取組みについて

問 自分たちができること、ほんの少しの意識から食品ロス削減につながると思う。具体的な施策と啓発の推進について。

答 学校給食センターでは給食の食べ残し等を堆肥化することで廃棄物減少に勤めている。また、昨年11月の広報かみさとで「食品ロスを減らそう」というタイトルで各家庭の取組みに関する記事を掲載した。3010運動が広く町民に周知されるよう推進してまいりたい。



3010運動を広げよう！

※①…宴席時、乾杯後30分と終了前10分は自分の席で食事を楽しむという食べ残しを減らすキャンペーン。

※②…計画的に施設の整備や維持管理を行うことで利用者将来負担の軽減を図る。

植井 敏夫

問 投票率を上げる工夫について

答 選挙期間内における商業施設での館内放送や選挙啓発広報車による啓発活動など行っている

質問1 国政選挙について

問 国政選挙での比例名簿における候補者数が多く、字が小さいために非常に見づらいので対応策は。

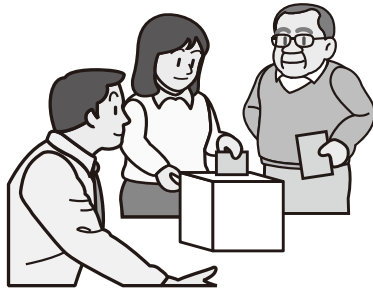
答 有権者の皆様にとって、投票しやすい環境を整えることは、大変大事な事であり、投票率の向上にもつながると考えている。

答 選挙管理委員長 現在、投票所では、政党名及び名簿搭載者指名掲示を投票記載台及び投票所に掲示しており、比例代表においては県で作成した模造紙サイズの大きいものを掲示している。

また各投票所には老眼鏡などを用意しており、選挙公報も用意しているので、ご利用いただきたい。

問 投票率を上げる工夫について。昨年より18歳から選挙権があるが、若い人の投票率はどのように変化しているのか。

答 選挙管理委員長 全国的に投票率を見ると、20歳代の若者の投票率が他の年代と比べて低く、若者の政治に対する感心の低さがうかがえる。上里町選挙管理委員会では、今年度の選挙啓発の一環として、中学校の生徒会役員選挙で、実際使用している投票箱を利用していただいた。



投票率を上げるには…

質問2 運転免許証の返納のサポート体制について

問 買い物や病院に行く場合のサポート体制は、町民の希望がかなえられているか。900日以上、死亡事故がないが、今後の高齢者の事故対策について。

答 団塊の世代が75歳を迎える2025年には、ひとり暮らしの高齢者世帯や高齢者夫婦のみの世帯、認知症高齢者の増加が予測されている。免許証返納することで移動手段がなくなり、家に閉じこもりがちなる高齢者が増えることが懸念される。

上里町としては、平成27年度より、介護予防を目的とした「こむぎつちちよつくら健康体操」の普及を12カ所の公民館等において週一回取り組んでおり、ふれあいサロン事業についても地域住民の交流の場として14カ所で行っており、地域に広がっている。また埼玉県警では、シルバーサポーター制度により免許証の自主返納を奨励。返納者には、必要な手続きを行う

質問3 サケの放流について

問 現在では、上里町の小学校でのサケの卵の配布状況はどのようになっているか。大変有意義な体験が出来ると思うが。

答 教育長 利根大堰での遡上状況は、平成26年度8759尾、27年度1万2338尾、今年度4038尾となっている。

配布を増やすことは、漁業組合との協議が必要であり、対応としては、公共施設や町民が集う場所に水槽を設置し、成長の過程を自由に観測できる環境の拡充ができたかと考えている。生命の神秘と自然環境を守る大切さを多くの方々に学んでいただきたいと思っている。

沓澤 幸子



問 国保の広域化で保険税の引き下げが課題

答 国保は国民皆保険の最後の砦^{とりで}と認識している

質問1 高齢者福祉について

問 町の生活保護世帯は258世帯で（5年前から75世帯増）高齢者世帯の割合が43.4%と深刻です。年金制度の改悪、後期高齢者医療保険料、介護保険料、消費税など、個人の努力では防げない負担増は深刻であり、生活困窮者の支援相談をワンストップで積極的に行える体制を。

答 社会構造の変化に伴い、支援が必要となる方が増加傾向にある。現在も町民福祉課社会福祉係が中心となり支援を行っている。職員の体制づくりも検討し、対応が上手くできるよう考えたい。

問 来年度から、国民健康保険の運営主体が都道府県に移行されます。県が示した保険税の3つの例は、いずれも大幅な負担増です。国保加入者の多くが高齢者や低所得者であり、保険税引き下げが喫緊の課題です。町長は、国・県に負担金の増額を求めると同時に、保険税を引き上

げない考えに立っていますか。

答 新制度への移行は、市町村の一般会計から繰入金金を充てないことを前提にしているため、県内全てで大幅な値上げとなります。正確な保険料等が固まるのは、平成30年1月以降の予定です。

法定外繰入は、他市町村の状況や財政も勘案し検討したい。国保は国民皆保険の最後の砦として、その必要性は認識しています。公費50%の負担率も、県保

問 後期高齢者医療保険料は、法令の定める軽減に加え「特別減税」がありますが、2017年度から段階的に縮小、廃止されます。町の対象人数と負担額、保険料の軽減縮小・廃止について国・県への対応と負担増の緩和についてお聞きします。

答 県の広域連合の試算では、上里町の軽減変更による影響は、646人で被保険者の約20%、金額は約429万円です。町としてはご理解を得られ

るよう周知に努めたい。

問 老人センター「かみさと荘」の利用者は2012年度の17439人から、7254人に減少しています。町長公約の健康増進センターの建設計画の中において、入浴設備を設置しないと決めつけずに検討を。

答 健康増進センターの実現に向け、公共施設等総合管理計画の方針等をもとに、適切な規模や場所等の検討を進め、29年度には構想を示していきたい。浴室の必要性は策定する中で議論が必要と考えている。



老人福祉センター「かみさと荘」

問 「こむぎつつし号」運行からの11か月間の各ルート利用者は、中央8238人、北部1185人、南部1477人でした。特に北部・南部ルートは便数が少なく利用しにくい状況です。バスの運行範囲を狭め、各ルートが1日10往復出来るようコースの見直しを行い、

バス運行から外れる地域には、タクシー券の発行、又は坂戸市で実施しているような小型ワゴン車の巡回を組み合わせた交通手段の確保を。

答 町としては時間をかけ協議を重ねたことであり、住民に定着するには期間を要すると考え、当面内容を変更せず周知や啓発活動に努めたい。しかし、改善を図ることも重要と考え、支線停留所利用者調べを実施し、アンケートも予定しています。町民のご意見や議員の提案を踏まえ、検討していく必要があるとも思っています。

※その他に、子育て環境について質問しました。

新井 實

問 無電柱化推進法の運用について



答 県や電気通信事業者等の関係機関と整備手法を研究したい



質問1 無電柱化推進法の運用について

問 無電柱化推進法が施行され、道端に立つ電柱を撤去して電線の地下埋設するための推進計画の策定とその取り組みについて。

答 無電柱化にかかる費用につきましては、1キロメートル当たり5億円程度が必要とされています。ご提案いただきました神保原駅北口から国道17号までの道路は、「県道神保原停車場線」となっており、歩道がないことから無電柱化の費用と合わせて歩道整備のための建物移転費用など、多大な費用が必要となります。県道の整備となりますが、事業化に

当たっては神保原北口地域の町民の方々の意向をよく把握するとともに県や電気通信事業者等の関係機関と調整しながら整備手法について研究していきたい。

質問2 メガソーラー設置の指針について

問 大規模太陽光発電所（メガソーラー）の乱開発を防ぐため、町の開発指針要領に「太陽光発電設置の設置行為等の指針を設けること」について。

答 現在の建築基準法では一部を除いて建築物に該当せず、建築許可は不要となることから、開発行為にあたりません。そのため埼玉県では市町村のガイドライン策定のため、標準モデルなどを公表しております。なお当町で設置する場合には、雨水処理や反射光、田園風景などの景観、また自然災害に伴うパネル飛散による公衆安全などの配慮を考慮するとともに住民の安全安心を確保するため、近隣市町の動向や埼玉県からの情報や連絡を密に

質問3 学習指導要領の答申について

問 国際学力調査で子どもの「読解力」を示す順位が下がったことから、読解力向上を「喫緊の課題」と位置づけ、国語を中心に語彙を増やす指導や読書活動を充実させるよう求めたことについて。

答 児童・生徒の実態や発達段階を考慮し、新聞などの文章を書き写し、自分の意見や考えを書きまとめる学習は、読解力の向上のみならず、未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力の育成にも効果的であると考えている。

し、必要に応じてガイドラインの策定について検討していきたい。

質問4 国民健康保険料の見直しについて

問 国民健康保険の運営主体が2018年度から県に移されるのを前に、国から示された新たな標準保険税率を適用すると、

一人当たり平均保険料（年額）が、県内63市町村全てで上昇する可能性があることについて。

答 県平均で現在の一人当たりの保険料が8万8863円で、新算定による一人当たりの保険料は11万6811円、この増加率は、31.45%で上里町は現在の一人当たりの保険料が7万8905円で、新算定による一人当たりの保険料は9万8990円、この増加率は25.45%である。

質問5 公共施設のトイレ改修について

問 公共施設の和式トイレを洋式に改修してもらいたいとの要望があることについて。

答 町としては、利用者の要望を受け入れつつ、運営管理や利用状況、施設建築年数などを考慮するとともに町の公共施設の多くは避難所として指定されていることも踏まえて、様式化や手すり設置などの改修の検討を進めたいと考えている。

仲井 静子



問 町女性職員活躍推進行動計画について町はどのように取組んで行くのか？

答 全職員に対し、女性職員の活動に関する行動計画と効率の良い働き方を求めている

質問1

女性活躍推進の取り組みについて(ワークライフバランスを押し進める事について)

問 『町女性職員活躍推進行動計画』には男性職員に認められている育児休業取得の数値目標を、なぜ定めていないのか。県庁をはじめ、近隣自治体の男性職員育児休業取得と数値目標を設定している自治体はあるのか。

答 他の自治体の行動計画では、男性の育児休暇取得の数値目標は、埼玉県15%、本市13%、神川町と美里町では1人以上の取得を目標としている。

問 町では、女性の活躍推進の為に施策を推進している



が、なかなか思うように進んでいないのが現状です。せっかく認められている養育休暇でさえ、昨年はゼロと男性職員はとっていない。こういった状況の打破が、女性の活躍推進のための大きな課題ではないか。

答 育児休業取得該当職員には、育児・介護関係の各種制度を周知すると共に、積極的に利用を求めている。今後、職員に各種制度の周知を行い、引き続き、管理職の意識改革を含め、男性職員の育児に関する意識の向上、上司である管理職が、ワークライフバランスを考え、育児・介護などの為に時間を使う事を自然な形で出来る組織づくりを目指し取得しやすい職場環境を築いていきたい。

問 ばりばり働いて家族を養うのが男の務めと思ってる男性達は、男のプライドが邪魔をして、育児や介護、家事の為に仕事をセーブした

りする事が言い出せない雰囲気があるのではないかと。固定的な役割分担意識の解消も含めた男性の意識改革を。

答 平成29年度に、上里町男女共同参画意識調査を実施する予定。この調査を行う事によって、男女それぞれの意識に関する傾向が見えてくる、社会情勢の変化や男女共同参画を取り巻く環境の変化に対応しつつ、男女共同参画社会の実現に向けて努力して行きたい。

質問2

町立保育園の進捗状況について

問 町立保育所、新園舎についてプロジェクトチームを編成し、検討しているようであるが、新園舎建設に向け、何処まで進んでいるのか、進捗状況について伺う。

答 検討内容は、将来的児童数の推移を検討した定員計画による適正規模、幾つかの候補地による建設場所、公立

保育所の付加機能など協議。今後、外部委員も含めた公立保育所建設検討委員会を開催、平成29年度概略設計、平成30年度に詳細設計、平成31年度に建設、平成32年4月開園予定。

問 平成26年12月から現在までレンタルにかかった費用は。

答 平成26年12月から平成29年2月まで、長幡と中央の2園で、合計月額268万1640円、総額7240万4280円となっている。



新園舎の建設が待たれる公立保育園

一般質問

齊藤 崇

問 長幡地区には医療機関が一つもないことについて

答 あったほうが良いが、他の医療機関との兼ねあいもあるので研究していきたい

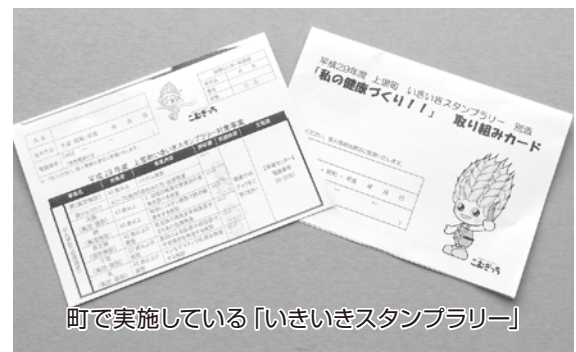
質問1 健康マイレージについて

問 現在、町で実施している「上里町いきいきスタンプラリー」だが事業内容をもっとグレードアップし、多くの町民が参加できるように工夫できないか。

答 スタンプラリー事業では、がん検診のほか特定健康診査、認知症サポート養成講座及び歩け歩け運動などの事業に加え、医療・介護費の抑制と、町づくりの活性化に取り組んでいる。

平成28年度からは、埼玉県が全県展開を進めている健康長寿埼玉モデル、毎日一万歩ウォーキングに取組み、スタンプラリー対象事業として追加し、今年度は19項目とした。しかし、本町でも超高齢化社会を迎えるに当たって、更なる充実が必要と考えている。

問 本町のポイント制度について、現行はポイントを貯めて交換条件を満たすと非売品のこむぎっちグッズがもらえる



町で実施している「いきいきスタンプラリー」

が、もっと経費をかけてポイント制度の内容を充実させれば多くの町民が参加し、健康増進、医療・介護費削減に寄与すると思うが。

答 今後の町の取組みとして、現在のスタンプラリー事業を県が進めている健康マイレージ制度へグレードアップできないか前向きに検討していきたいと考えている。

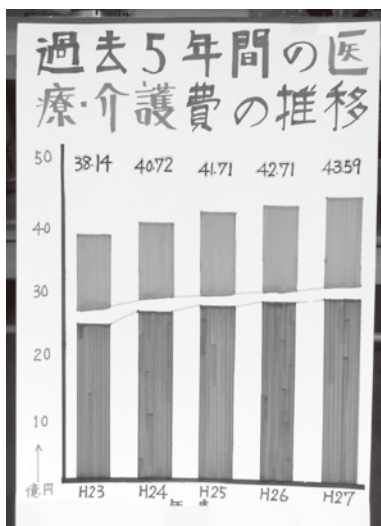
問 町の医療・介護費は過去5年間で見ても1年で約1億円ずつ増加、このままでは大変なことになる。これを抑止するた

めにも健康に関するあらゆる施策に取り組んでは。

答 とりわけ各地区公民館等で実施している「ふれあいサロン」においても、こむぎっちちよっくら体操、筋力アップ体操など積極的に取り入れて健康増進につなげたい。またスタンプラリーの対象事業を更に充実させることにより、多くの町民が健康づくりに取り組むことになれば、費用対効果も大きいし、医療・介護費の抑制にも寄与するのではないかと思われる。

問 超高齢化社会に対応できる医療機関について。本町には歯科医を含めて31の医療機関があるが、大半の人がマイカーでの通院です。少なくとも自転車や徒歩で通院できる医療機関を行政として考えるのか。

答 本町の医療機関については近年増加傾向に



ある。住み慣れた地域で必要な医療サービスを受けられる体制を確保することが求められる。かかりつけ医を持ちながら、訪問診療やみとりなどが、在宅療養できるよう医師会等関係機関と連携し推進して行く。

問 長幡地区には歯科医を含め医療機関がない。七本木、神保原地区に偏っている。行政として何かサポートできないか。

答 医療機関を誘致するとその後の運営等を含め難しい面もある。この問題については北部医療圏における医療資源や地区の医療ニーズを踏まえ、高齢者の交通手段の確保と合わせて考えていきたい。

議会日誌

3月

- 3日 3月定例会初日、開会、町長の施政方針及び行政報告一般質問
- 6日 一般質問、全員協議会
- 7日 議案審議(条例等、28年度補正予算)
- 8日 議案審議(29年度当初予算) 議会運営委員会
- 9日 全員協議会
- 10日 全員協議会
- 13日 議案審議(29年度当初予算)
- 14日 全員協議会
- 15日 中学校卒業式
- 17日 3月定例会最終日、閉会
- 23日 小学校卒業式
- 24日 児玉郡市広域市町村圏組合議会 本庄上里学校給食組合議会
- 26日 乾武マラソン大会

4月

- 2日 桜まつり
- 6日 埼玉県町村議会議長会役員会
- 10日 小・中学校入学式
- 17日 議会だより編集委員会

5月

- 1日 臨時会
- 15日 議会だより編集委員会
- 16日 児玉郡町議会議長会総会
- 17日 議会運営委員会
- 25日 埼玉県町村議会議長会臨時理事会

編集後記

ミサイルの打ち上げ実験が行われた。『打ち落とす迎撃ミサイルは万全なのか』等の報道が行われている。国の指導者は、第一に戦争を起こさない判断をしていただきたいと思うのは、私一人でしょうか。今回の議会報告は、表紙をカラーにし、内容も読みやすさを心掛けています。今後も、皆様のご意見を生かして、議会だよりをつくりたいと思いますので、宜しく願います。

議会だより編集委員会

- 委員長 新井 實
- 副委員長 仲井 静子
- 委員 植原 育雄、岩田 智教、齊藤 崇、戸矢 隆光

6月定例会を傍聴しませんか!

定例会は、6月5日(月)に開会の予定です。
なお、一般質問は5日(月)、6日(火)の2日間を予定しています。

6月定例会一般質問一覧

	氏名	質問の要旨
5日(月)	沓澤 幸子	1 少子化対策と子育て支援について
		2 第7期介護保険事業計画について
		3 生ゴミの減量について
	齊藤 崇	1 子ども・子育て支援について 2 上里町中学生海外派遣事業復活について
戸矢 隆光	1 職員採用について	
	2 職員の研修について	
	3 消防車両について	
飯塚 賢治	1 「新入学児童生徒学用品費等」の支給時期について	
	2 学校トイレの洋式化について	
	3 犬猫の殺処分数削減について	
仲井 静子	1 食育推進計画について	
	2 町のホームページについて	
植原 育雄	1 上里町の子育て支援について	
	2 上里町内における小中学校教諭の勤務実態について	
	3 上里町内高齢者の交通対策について	
6日(火)	新井 實	1 北朝鮮の弾道ミサイル発射について
		2 教員勤務調査について
		3 教育勅語について
		4 町営水道の飲料水について
		5 ふるさと納税について

新井 議員

納谷 議員

埼玉県町村議会議長会から自治功労表彰



2月28日にさいたま市で開催された『埼玉県町村議会議長会定期総会』において、自治功労者の表彰がありました。当議会から、新井議員・納谷議員が議員在職15年以上に亘る地方自治の進展に寄与された功績により表彰されました。

受賞おめでとうございます。

受賞おめでとうございます。

